

瑠璃の屋形

レクリエーションの報告

8月25日(土)に瑠璃の屋形では久しぶりにレクリエーションを行いました。本来であれば7月開催の予定でしたが、西日本豪雨による断水の影響もあり開催が延期となっておりました。今回のレクリエーションの内容はカラオケでした。利用者さん4名の参加があり、各々4~5曲気持ちよさように歌われていました。利用者さんからの感想としては、「久しぶりにカラオケに行けたので良かった。」「普段聞けない職員の歌声が聞けて楽しかった。」などの声が聞けました。利用者さん職員共に充実した時間を過ごすことができました。

直売市よりお知らせ

感謝祭について 毎年恒例、瑠璃の屋形の感謝祭を11月16日(金)9:00~開催予定です。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

生産者様募集中 生産者の方を募集中です。お野菜を作っている方、お花を育てている方、雑貨づくりをされている方、興味のある方は直売市スタッフまでお気軽にお声掛けください。

行事報告

8月 14日 大和地区盆踊り(やまと) 18日 ひだまり夏祭り参加(ヴィータ) 25日 レク『カラオケ』(瑠璃の屋形)
9月 12~13日 山口県一泊研修旅行(やまと)

行事予定

10月 21日 おのみち福祉祭り参加(瑠璃の屋形・ヴィータ) 28日 重井公民館まつり参加(ヴィータ)
11月 11日 おのみち市民健康祭り参加(瑠璃の屋形・ヴィータ) 16日 感謝祭(瑠璃の屋形)
未定 スポーツ交流会(支援センターるり)
12月 未定 フットサル(支援センターるり)
未定 傾聴ボランティアコスモス主催クリスマス会参加
未定 もちつき大会



感謝の気持ち

7月【物品寄贈】 日下佳春様 日下雅美様
8月【物品寄贈】 高橋幸男様 匿名希望様



お問い合わせ先

社会福祉法人 尾道のぞみ会 (HP: <http://www.o-nozomi.or.jp/>)

- ・瑠璃の屋形(就労移行支援・就労継続支援B型) 広島県尾道市久保町92-2 ☎(0848)37-6040
- ・瑠璃寮(生活訓練:宿泊型、通所型、訪問型・短期入所) 広島県尾道市久保町1714-1 ☎(0848)20-7676
- ・地域生活支援センターるり(地域活動支援センター・指定特定、指定一般相談支援)
広島県尾道市天満町2-10 ☎(0848)38-7151
- ・希望の家(共同生活援助) 瑠璃寮内
- ・やまと(就労継続支援B型) 広島県尾道市御調町大山田1139-2 ☎(0848)76-2356
- ・ヴィータ(指定特定相談支援・生活訓練:通所型、訪問型・就労継続支援B型)
広島県尾道市因島重井町鬼岩5276-17 2階 ☎(0845)26-2580

瑠璃だより

秋号



発行:社会福祉法人尾道のぞみ会 2018年9月28日発行
〒722-0042 広島県尾道市久保町92-2

理事長挨拶

この度の西日本豪雨で亡くなられた方、被災された方に心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げますとともに、1日も早く平穏な生活に戻れるよう祈念いたします。

さて、平成最後の夏が終わりました。この夏、私たちの地域で印象に残ることといえば、豪雨、断水、酷暑、逆走台風といったところでしょうか。決して忘れられない夏になり、平素からの防災意識がいかに重要であるかを再認識させられました。近年の日本各地の災害は報道等で知っていたはずなのに、「ここは大丈夫じゃ」「今まで何ともなかったから」と、危機感に欠けている自分を猛省した夏になりました。

災害後、浸水や土砂崩れといった直接的な被害はもとより、道路寸断や断水などによる影響が大きかった場合やその他の災害時対応の防災マニュアルはしっかり整備しておくべきだと考え、作成に向け取り組んでおります。

頻発する台風の本格シーズンはこれからです。また想定外の災害の可能性も決してゼロではないと思います。皆様も十分に備え、注意し、お気をつけてお過ごしください。

最後になりましたが、この度の豪雨では、地域内外たいへん多くの方からのご心配の声やお見舞い、また物資等をご支援いただき、心より感謝御礼申し上げます。

社会福祉法人尾道のぞみ会 理事長 よしゆき 高垣孔幸

御支援・御協力ありがとうございました



長野敏宏様 高橋幸男様 三島武司様 高尾由美子様
日野自動車株式会社様 株式会社ヒラタ様 株式会社葉名組様
玉ノ浦ゴルフ練習場様 ダイニングカラオケオアシス様
関係者の皆様

7月に降り続いた大雨の影響で、尾道市内や多くの地域で断水となる事態となりました。皆さまの御支援と御協力があり、この断水を乗り切ることができました。この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。



ヴィータ



過ごしやすい季節となつてまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか？

8月に「やまと」から「ヴィータ」に異動でまいりました山口洋明(やまぐち ひろあき)と申します。やまととは全く違う作業に戸惑う日々ですが、1日1日の作業を大切にに取り組んでいます。今では、他職員や利用者さんのおかげで、作業にも大分慣れてきました。



異動にあたって一番心配したことは、利用者さんに受け入れてもらえるだろうかということでした。私は話すことが苦手なので、どうやって話しかけたらいいだろうかと考え込んでしまい、もどかしい日々が続きました。しかし、少しずつではありますが、話ができるようになり、今では作業に関する話し合いもしっかり出来るようになりました。ヴィータに配属されてまだ2カ月です。悩むこともあると思いますが、「これから」がとても楽しみです。いろんな新しい発見があるのではとワクワクしています。ヴィータの一員としてがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。



活動報告と予定について

ヴィータでは、8月18日(土)に就労継続支援B型の作業でとてもお世話になっております、NPO 法人遊喜の会「ケアホームひだまり」様主催の「ひだまり夏祭り」に参加させていただきました。ヴィータはフランクフルトを販売しました。夏祭りでは、焼きそば、たこ焼き、フライドポテト等の食べ物や射的、カーリング、ヨーヨー釣り等のゲームもあり、お子様からおじいちゃんおばあちゃんまで、皆さん楽しんでおられました。

このたびの夏祭りでは、NPO 法人遊喜の会「ケアホームひだまり」の皆様をはじめ、関係者の皆様には、心あたたまるお声がけをいただき、誠にありがとうございました。

ヴィータでは10月25日にある「ふれあい合同面接会」に参加予定です。「ふれあい合同面接会」とは、障がい者の雇用を促進する場として、広島県労働局並びに県東部地区ハローワーク4か所、および岡山局ハローワーク笠岡と福山市で共催しているものです。ヴィータも過去数回会場へ行き、見学をしています。まだエントリーには至っていませんが、一般就労したいという思いをお持ちの方々の今後の為になればと、面接会にはできるだけ参加をしています。いつかご自身のタイミングでご縁が繋がれば良いなと考えております。

そして、秋といえばバザー・マルシェのシーズン到来です。ヴィータからも各地域での出店を予定しています。出店については、こちらの便り6ページの行事予定に記載しておりますので、近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。心よりお待ちしております。

これから朝、夕と冷えてまいります。お身体には皆さまお気をつけください。



地域生活支援センターるり



断水時の振り返り

日ごとに秋が深まり、木々の梢も色づいてまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか？瑠璃だより秋号では、7月の断水時のことを振り返ってみたいと思います。

断水となった当日から断水が解消されるまで、支援センターるりの各種プログラムはお休みとさせていただきました。いつもと同じように安心して安全に利用していただくことが困難だと判断したためです。講師の先生、参加されている方々にご連絡をし、その旨お伝えさせていただきました。一般の方の中には、こちらが連絡先を存じ上げていない方もおり、ご存知の方に連絡をお願いすることもありました。お詫び申し上げますとともに、ご協力についてお礼申し上げます。

計画相談を担当している方については、主に一人暮らしの方に対して安否確認をさせていただき、給水に行けているかどうかなどの生活状況をお聞きしました。その際に、給水場所やJRの状況など必要な情報をお伝えしたり、給水に行くのが難しい方にはサポートをさせていただきました。

今回感じたのは、日頃の備えが何よりも大事だということです。日頃からハザードマップを確認しておくこと、避難所がどこか実際に足を運んで見ておくこと、災害時に必要なものが何か検討し備蓄しておくことなど。今回のことを活かせるよう、取り組んでいきたいと考えています。

秋冷えの折、体調には十分お気をつけください。



職員コーナー

今月の職員コーナー:瑠璃の屋形 高垣優希
テーマ:「はまっているもの」

異常気象とも言える酷暑を乗り越えたころ、この原稿を書いています。今回は「はまっていること」をテーマにえらびました。

私のはまっていることは、あるアーティストを応援することです。もうかれこれ十数年はまっていて、年々と深いところにはまっています。時間とお金が許す限りライブへ足を運び、ライブグッズを買い…。気づけば今年の夏は4回ライブへ足を運び、そのたびにグッズの「ガチャ」を何度も



何度も回しました。ガチャは全50種類に加え、シークレットが2種類。全50種類を揃えた後もシークレットを出すために何度も回して…。そうしていくうちに同志を見つけて協力しましたが、結局シークレットは出ませんでした。しかし、短時間でも同じ目標に向かって協力した仲間。すぐに打ち解けて、ライブ終演後には食事会を開いて感想を語り合いました。こうして全国に仲間が増えていくのも、深いところにはまっていくなりたいと思っています。

やまと



活動の様子

皆さまいかがお過ごしでしょうか。やまとの多田圭希(ただ けいき)です。すっかり涼しくなってまいりました。もうすっかり秋ですね。あんなに暑かった夏も過ぎればなんだかすこし寂しい思いがします。

「夏の思い出」といえば、大和地区では毎年8月14日に盆踊り大会を行っています。7月の豪雨災害による被害が大和地区にもありましたが、今年も無事に開催されました。広島県無形民俗文化財にもなっている「みあがり踊り」は地域に受け継がれる伝統ある踊りです。鐘と太鼓の音が里山に響き渡ると日本のお盆を感じます。後半の手踊りからはやまと事業所のみんなで踊りの輪に加わり一緒に踊りました。一緒に踊るとやはり楽しいです。



8月後半から「そろそろ白菜を植える頃だよ。」と地区の方から教えていただき白菜の種を蒔きました。最初はポッドに植えて苗を育てます。白菜はこれからの季節鍋料理には欠かせない野菜です。昼食にも大活躍です。たくさん収穫出来たら漬物も作ろうと考えています。その他春菊、水菜、人参、大根、ほうれん草も植えました。農作業としては、そろそろ稲刈りのタイミングを見計らっている状況です。

9月12日、13日はやまと事業所の利用者の皆さんと共にマイクロバスで一泊研修旅行に行ってきました。今年見学させていただいたのは山口県萩市にある社会福祉法人 E.G.F です。E.G.Fとは Easy Going Farm の略で「のんきな農場」という意味です。のんきとは言っても、農作業には真剣に取り組まれていて、付加価値の高い商品を作っておられました。例えば、とてもおおきな有機栽培のイチゴや空中で栽培するメロン、天日で干すはぜ掛け米等です。また、収穫した野菜をさらに工場でカット野菜にしたり、商品にならない小さな粒の果物はスムージーに加工して販売されているそうです。高齢化する地域との連携を考え、農福連携にも積極的に取り組まれていました。また、「できないことをできるようにではなく、今できることを精一杯すること。草を一本取るのも、石をひとつ動かすのも貴重な労働である」と話されていたのが印象に残りました。職員の仕事は「その人ができることを見つけること、その人が作業しやすいように環境を整えること」と伺いました。ここで研修し学んだことを忘れずに日々の業務に取り組みたいと思いました。



年に一度の一泊研修旅行は、利用者の皆さんがとても楽しみにされていて、萩本陣という旅館に一泊して二日目は萩市を観光、最後に島根県の海洋館アクアスの白イルカのショーをみて帰りました。とても良い研修旅行となったと感じています。

瑠璃寮

活動の様子

少しずつ秋らしい気候になってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。瑠璃だより秋号では、瑠璃寮の通所型生活訓練で取り組んでいるプログラムを一部ピックアップしてご紹介します。

瑠璃寮では月に3回、『心と身体のリフレッシュ』を実施しています。

このプログラムでは、外部講師をお呼びし参加者のペースに合わせたストレッチを行っています。フローリングの床の上に長方形のヨガマットを敷き、やわらかいストレッチ用のボールを使いながら楽しく運動しています。1回のプログラムにつき約1時間半運動するのですが、参加者の中には身体の柔らかい

方から普段ほとんど運動をしないという方まで様々おられ、それぞれのハードルで無理なく身体を動かしています。お題を出し合いながらボールをパスするストレッチでは、参加者同士の掛け合いにより特に盛り上がります。プログラムを通し、楽しく健康維持できるよう日々活動しています。

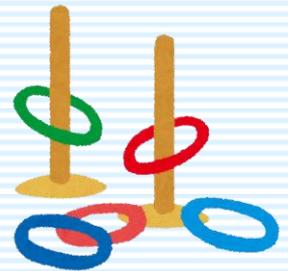


7月に発生した豪雨災害におきましては、関係者の皆様より給水活動等ご支援・ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

希望の家

活動の報告

朝・夕めっきり涼しくなり、過ごしやすくなりましたが、いかがお過ごしでしょうか？希望の家では、8月に各グループホームの町内会夏祭りに参加させていただきました。これまで毎年参加されていた利用者の方と一緒に参加し、夏の思い出を作ることができました。かき氷、焼きそば、焼き鳥等でお腹いっぱいになり、輪投げやダーツ、ビンゴゲームでは楽しい時間を過ごすことができました。各町内会の方々の趣向を凝らした手作りゲームや各料理は準備から当日調理と貴重な時間を費やし、大変な労力であったらろうと思われます。ありがとうございました。今後も、地域行事に参加させていただき、地域の方との交流を深めることができればと思っております。



また、9月は町内会の「自主避難訓練」に利用者の方と参加させていただきました。いざという時には、自分で自分の身を守る選択ができるように日頃から訓練が大切であるということを、改めて実感いたしました。避難所開設やその後の動き、備蓄の準備等説明いただき、ありがとうございました。頼るべきは、「遠い親戚より、近くの他人」と言います。普段から地域の方々との関わりが重要だと実感いたしました。

7月には豪雨の影響にて各ホームが断水になりました。その際には、ご支援ご協力いただき、大変感謝しております。おかげさまで、なんとか乗り切ることができました。ありがとうございました。これを機に改めて災害時等の備えや訓練等を見直し、いざという時に自分で自分の身が守れるよう、取り組んでいきたいと思ひます。